

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部基盤技術支援センター	■担当係	基盤技術支援センター
■評価事業名称	産業高度化アドバイザー設置事業		
■評価事業コード	060500 - 005	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり	
	■基本施策	01 産業間連携の促進	
	■施策	01 次世代につながる産業間連携の促進	
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称	北上市工業振興計画		
■事業の目的と概要	経営や技術の相談に対し積極的に対応して工業の振興を促進するもの。企業情報、研究シーズ等収集。情報提供資料作成補助。企業訪問及び実施報告書作成等。受発注の支援。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	産業高度化アドバイザー設置事業	製造業を中心とする企業		企業訪問: 延べ198社 受発注支援: 52件 各種相談: 80件

3. 投入コスト情報

(単位: 千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	2,526	2,790	2,821	2,415	
人件費	576	1,800	1,865	1,338	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	3,102	4,590	4,686	3,753	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	企業訪問回数	209	155	165	198	岩手大学地域連携推進センター・岩手大学金型技術研究センターとの合同企業訪問のほか、独自に企業を訪ね、各種施策の紹介等を実施した。
02	補助金等制度利用指導件数	13	10	51	80	設備投資や新規開発等を予定している企業に、国、県等の有利な制度を活用するよう助言した。

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

03	補助金・特許申請等に係るアドバイスによる解決案件数	13	10	51	80	補助金・特許申請等に係るアドバイスによる解決案件数の合計
----	---------------------------	----	----	----	----	------------------------------

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

23,24年度は製造分野が得意なアドバイザーだったため、製造ラインの相談も受けるようになった。積極的な企業訪問により、各種経営改善、補助事業へとつながっている。

問題点・課題等

企業からは各種プロフェッショナルを求められる。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明